

多額の寄付、感謝込め

米沢東高 O Gの孫の追悼式典



マーガレット・石山・ラフィンさんの姿が映し出され、寄贈された楽器を使った演奏が披露された追悼式 一米沢市民文化会館

米沢東高（米沢市、小林由美子校長）の卒業生の孫で、同校に対して多額の寄付を行ってきた米国在住のマーガレット・石山・ラフィンさんの追悼記念式典が17日、市民文化会館で行われた。生徒や卒業生など約500人が出席し、米国から駆け付けた家族とともに故人をしのんだ。

マーガレットさんの祖母・石山つぎさんは、同校の前身、米沢高等女学校の第6回卒業生。結婚後に渡米し、貿易関係の事業で成功

した。息子の故ジョージ・シゲル・石山さんは、「母を育てた同校の役に立ちたい」と奨学資金を提供。設立された財団によって奨学金の支給や、生徒と卒業生向けに音楽会や講演会が開催されている。

マーガレットさんは父シゲルさんの遺志を継いで同校の支援を行い、たびたび来校した。2019年の同校創立120周年の際にも訪れ、テニスコートの人工芝の張り替えや、ハーブなどの高額な楽器を寄贈し

た。昨年4月3日、74歳で亡くなった。

追悼式では、財団の理事長で元校長の影山圭佑実行委員長が「支援は生徒の希望の力となってきた。深く感謝している」とあいさつ。同校音楽部が演奏する中、

関係者が献花した。式典では、色の違う折り鶴でマーガレットさんの顔をデザインした全校制作の作品も披露。米国からは妹のパトリシアさん、娘のエリザベスさんも出席し、英語でスピーチした。（阿久津誠）